

高橋まさかず 市長活動報告

VOL.10

■発行日：2023年7月
■発行元：高橋まさかず後援会



秦野を変える 実現力。

「共働き子育てしやすい街ランキング」
秦野市が全国16位・神奈川県内2位の評価
日本経済新聞（令和4年12月発表）



ごあいさつ

日頃大変お世話になっております。

3年以上にわたり、私たちの生活や事業活動に様々な影響を及ぼしてきた新型コロナウイルスも、ようやく出口が見え、明るい日常を取り戻しつつあります。第9波到来やウクライナ情勢という懸念材料はあるものの、この3年間の経験を糧として、今後、社会経済活動が活発化することを大いに期待するところです。

今、国を挙げて「誰一人取り残されない 人に優しいデジタル化」に取り組んでいます。3年前、すべての国民に一人十万円を支給する特別定額給付金事業が始まり、実務を担当する市町村では、膨大な事務作業に追われ、迅速な対応ができませんでした。その反省から、マイナンバーカードに公金受取口座を紐づけし、スピーディーに対応できる体制が採られました。

全国の自治体で証明書の誤交付や登録誤りが問題となっていますが、これらをしっかり検証して、問題点を解

消することはもちろんですが、新たな日常を模索する中で、デジタル化の推進は待たなしです。

秦野市のマイナンバーカード普及率は約83%であり、確実にデジタル化は進んでいます。市役所の窓口事務手続きだけでなく、教育や商業など、様々な分野でデジタル化を進めています。

市政の重要課題は、これだけにとどまりません。地域医療の充実強化や切れ目のない子育て支援、教育水準の改善向上にも取り組んでいく必要があります。さらには、令和9年度の新東名全線開通を見据えながら、「表丹沢の魅力づくり」や「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」を一体的に進め、「全国屈指の森林観光都市」を目指してまいります。

引き続き、皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。

秦野市長 高橋 昌和

『産婦人科クリニック』11月開院予定！

秦野市民にとって、8年越しの念願であった出産環境を整えるためのスタートとなる「女性と子どもが住みやすいまちづくり」連携協定が、4月19日に医療法人葵鐘会（愛知県）との間で締結され、本年11月開院を目指して、産婦人科クリニック（13床）の建設が始まりました。今後は、宿泊型産後ケア事業など、周産期医療や女性と子どもの健康維持・増進を総合的にサポートする体制づくりを進めていくことになります。

アクアベルクリニック
公式WEBサイト➡



▲ 連携協定締結



▲ 開院場所 246号新町交差点隣り

高橋まさかず市長活動報告

[2月25日] 次世代交通システム「zippar (ジッパー)」のお披露目会



[3月12日] 秦野スカウト会は、昭和37年(1962年)発足60周年を記念して、植樹祭を開催



[4月2日] 明日を担う若い力「学生団体E4」の皆さんと



[4月9日] 秦野市少年野球連盟春季大会開会式



[4月22日] 日本のトップ選手が出場する女子ソフトボール「DJリーグ」で始球式



[5月6日] LUNA SEAの真矢さんはだのふるさと大使に就任



[5月22日] 蓑毛大日堂の市指定重要文化財「木造二王立像」が修復のため搬出



[5月28日] 第15回秦野市植樹祭が弘法山で開催
市民の皆様とイロハモミジ・マメザクラなど植樹



[6月5日] 今川町友愛チームから褒章受章報告

